

グループホームいしい  
小規模多機能ホームいしい

# 心の便り



グループホームいしい・デイサービスいしい

松山市北井門3丁目14-28

TEL089-956-1213 FAX089-956-0577

info@ishii-c.jp

小規模多機能ホームいしい・住宅型有料老人ホームいしい

松山市北井門2丁目9-15

TEL089-948-9777 FAX089-948-9778

sh-ishii@plum.ocn.ne.jp



## 平成29年3月号

### 統括施設長あいさつ

春の風が快い季節となりましたが、お変わりございませんか。

3月は梅祭り、4月はお花見と、季節を利用者様と感じながら春のおとずれを楽しみたいと思います。

さて、株式会社ヨシケンコーポレーション福祉事業部の広報誌「心の便り」をお読みいただきありがとうございます。「心の便り」の発行は、今から11年前に職員からホームでの活動内容等を利用者様やご家族へ届けたいという思いから誕生いたしました。これからも広報委員の職員が中心に日々の様子やホームでの取り組みがお届けできるよう一丸となり取り組んで参りますので、今後とも株式会社ヨシケンコーポレーション福祉事業部へのご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

ヨシケンコーポレーション福祉事業部 統括施設長 河本 幸恵



0101A JB - 5884353

2月の行事

- 01日 パンの移動販売（しほやさん）
- 03日 節分
- 04日 椿祭り
- 13日 音楽療法
- 15日 パンの移動販売（しほやさん）
- 17日 A・Y様誕生日
- 22日 職員研修（看取りについて）
- 24日 運営推進会議
- 26日 園芸療法（じゃがいもを植えよう）
- 26日～28日 大根の湯

3月の行事

- 01日 パンの移動販売（しほやさん）
- 03日 桃の節句
- 08日 七折梅祭り
- 10日 ちびっこランド交流会  
A・K様誕生日
- 13日 音楽療法  
O・S様誕生日
- 21日 民安会
- 23日 T・K様誕生日
- 22日 職員研修（いしい検定）
- 27日 園芸療法（春の花を植えよう）
- 29日 防災訓練  
K・S様誕生日



# 鬼は外♪福は内♪



節分といえば恵方巻き！・・・ということで、恵方巻きを作りました。「酔の量は大丈夫？」「美味しそうに出来たよ♪」と、皆さん楽しそうに作っていました。今年の恵方は「北北東」。恵方に向かって食べている方もいました。



午後からは「鬼は～外♪福は～内♪」と豆まきをしました。いい事があるといいですね☆





# 椿祭りに行ってきました☆



今年の椿祭りは3日～5日の3日間。  
暖かく過ごしやすい気温になりました。  
O・Tさんはおでんを買われ、「温かくて美味しいね♪」と笑顔で食べられました。

H・Sさんは「これが食べたい」と、祭りの定番ともいえる東京ケーキを買いました。ホームに帰ってから、「美味しいね～」と食べられていました。



# 懐かしのメロディー♪



今回は、2月ということで「春よ来い」「ペチカ」等、冬と春の曲を中心に歌いました。「春よ来い」では、脳の活性化を図るために歌いながら体操をしました。

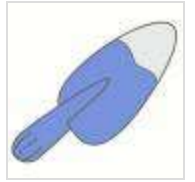
K・Sさんは、職員と一緒に体操され、「こうやったらいいん？」と聞かれながらも笑顔が多く見られていました。

「カチューシャ」では、統合精神機能を養うために歌いながら楽器を使用しました。

皆さん歌に合わせて笑顔で楽器を鳴らせていました。



# じゃがいもを植えました



今回はじゃがいもを植えました。T・Iさんは、「こんな感じでいいん？」と聞かれながら植えられ、植え終わった後は「収穫が楽しみ♪」と、笑顔でいられていました。

じゃがいもを植え終わった後、「大きく育つといいね」「収穫して食べるのが楽しみ」と、皆さん収穫できる日が来るのを楽しみにされている様子でした。



## Happy Birthday



2月17日はA・Yさんの誕生日☆ケーキを作ったり、歌を歌ったり、プレゼントを渡してお祝いしました。

A・Yさんはお洒落が好きなので、化粧道具が入られるポーチをプレゼントしました。「ありがとう」と喜ばれていました。



# 看取りについて

看取りとは

- ・広辞苑では「看病する」
- ・看取りという言葉には「病人の看護」「病人の世話をする」という意味がある。



「死期が近い状態の看護」

## 看取りのケア

最後の時まで、その人らしく過ごすことを支援する。  
死に向うが、生に全うする為のケアである。

尊厳のある死

本人の意思に基づいて、尊厳ある人として最後まで生き、そして死を迎える事。

尊厳のある死のキーワード

- ・本人の意思を尊重
- ・平穏な、穏やかな死
- ・その人らしさ、価値観を大切にされた日常（生活）の継続
- ・どこで看取るかではなくいかに看取るか

高齢者施設の看取りケアの考え方（視点）

- ・長期に渡る暮らしの延長線上に死がある事を理解する。
- ・暮らし全体を支え、暮らしそのものに力を注ぐ。
- ・医療や福祉の連携が利用者・家族・職員ニーズの支えとなる事を理解する。
- ・家族等身近な人々への支援も看取りケアの一角にある事を理解する。
- ・看取られる側と看取る側の関係にケアの本質がある事を理解する。

看取りケアの実際

### ・心身の安定期

日常生活の中で本人を想い、死生観を理解する。

### ・心身の不安定期

緩和ケアを中心に生活を支える。

### ・臨死期

医療・家族と連携し、緩和ケアと共に死を見届ける。

### ・死後

エンゼルケア・グリーフケア

看取り期のケアのポイント

- ・本人の想いを尊重する。
- ・状態の低下が自然に受容出来るように援助する（自然に出来ない所を支援する）。
- ・QOL（生活の質）と SOL（生命の尊厳）の双方を尊重する（声かけ・本人の望む温かい対応）。
- ・苦痛の緩和のための医療を提供する。
- ・家族との時間を大切にする。

# 小規模多機能ホームいいい

編集文責：広報委員  
中島大樹

## 2月の行事

- 01日 パンの移動販売（しほや）
- 02日 A・S様誕生日
- 04日 椿祭り
- 12日 M・Y様誕生日
- 13日 音楽療法
- 15日 パンの移動販売（しほや）
- 18日 M・F様誕生日
- 21日 民安会
- 22日 職員研修（看取り）
- 24日 運営推進会議
- 25日 O・S様誕生日
- 27日 園芸療法（じゃが芋）

## 3月の行事予定

- 01日 パンの移動販売（しほや）
- 07日 七折梅祭り
- 13日 音楽療法
- 15日 パンの移動販売（しほや）
- 20日 T・N様誕生日
- 22日 職員研修（接遇）
- 27日 園芸療法（キュウリ・トマト）
- 28日 防災訓練



## 鬼は外、福は内



2月3日は節分で豆まきをしました。I様はお面をつけて昨年引き続き鬼の役をして下さりました。「鬼が来たぞ〜！」と利用者様のところをまわって下さり、すっかり鬼になりきられていました。「鬼の役も大変じゃ」と少し疲れた様子が見られましたが、楽しんでいる様子でした。

利用者様は豆に見立てた新聞紙を丸めたものを投げられ「鬼は外！福は内！」と声をあげられ、豆まきを楽しまれていました。

利用者様は豆を食べられ「おいしいよ。年の数は多くて食べれんわい」と笑いながら仰っていました。





# 椿祭りに行きました



2月4日には椿祭りに行きました。この日は少し曇っていましたが、賑わっていました。A様は「人が多くて楽しいね！店もいろんなのがあるよ」と出店で買い物を楽しまれました。それぞれ東京ケーキなどのおやつを購入されていました。

利用者様はそれぞれ行きたい店をまわられました。Dさんは「どれもおいしそうやね。たこ焼きとかいか焼きがおいしそうよ」と仰っていました。「私これ食べよう」とたい焼きを購入されていました。最後に鳥居の前で記念撮影をしました。



# 2月の音楽会



2月13日は音楽療法の日です。鳴子を使って上腕機能の活性化を、歌を唄って呼吸器の活性化を図りました。T様は先生との受け答えもしっかりとされており、楽しまれました。D様も腕をしっかりと上げられ、運動をされました。



# 民安会の演奏



2月21日は民安会の方々が来所して下さり、三味線や琴の演奏や踊りを披露して下さいました。

Nさんは「キレイな音が出ますね。演奏も上手でしたよ」と琴の演奏を楽しまれていました。「私も大正琴をしてたけど、練習せないかんね」と仰っていました。

踊りでは「夢さくら」「浪曲一代」に合わせて優雅に踊られていました。D様は「キレイな着物と化粧やね。踊りも上手やったしなかなか見れんよ」と楽しまれ手の動きを真似されてました。最後に職員参加の野球拳をされ、利用者様は笑いながら貴重な時間を過ごされてました。



# HAPPY BIRTHDAY



2月2日はA様、2月18日はM様の誕生日でした。A様は「いつの間にか97歳になってました。祝ってくれてありがとう」と笑いながら仰っていました。M様は「プレゼント貰えるのなんか久しぶりよ」と嬉しそうに仰っていました。



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ヨシケンコーポレーション	代表者	代表取締役 河本 英樹	法人・ 事業所 の特徴	グループホームいしい・デイサービスいしい 小規模多機能ホームいしい・住宅型有料老人ホームいしい 法人理念：「3つの心」 初心を忘れない・素直な心・思いやりの心 小規模多機能ホームいしい理念： なじみの生活をいつまでも。ともに出来ることを支えあい歩みます。
事業所名	小規模多機能ホーム いしい	管理者	宇都宮 孝文		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	3人	1人	5人	9人	3人	0人	2人	7人	1人	31人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>次回のサービス評価時には、事前に現在の職員配置人員および現在取り組んでいる事を分かりやすくお伝えした上で、「外部評価地域関わりシート①」の記入をお願いしますようにします。</p>	<p>現在の職員配置人員や取り組みについての説明が不十分だった。</p>	<p>常勤職員が何人いてどのような取り組みを行っているのかがわかりづらかった。</p>	<p>次回のサービス評価時には、事前（8月、12月の運営推進会議の際）に現在の職員配置人員および現在取り組んでいる事を分かりやすくお伝えした上で、「外部評価地域関わりシート①」の記入をお願いしますようにします。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>地域の皆様に事前に案内した上で、定期的に行事を開催しお越し頂くことで入りやすい雰囲気を作ります。 また、平成28年2月までに入口に分かりやすい看板等を設置するようにします。</p>	<p>事前に市域の方へ行事案内のチラシをお配りし参加していただいた。 看板については行事の際に小さいものを設置していた。</p>	<p>明るい雰囲気、入った時に職員がすぐに対応して下さり、入りやすかった。閉めきったり、暗いと入り辛い。</p>	<p>地域の皆様に事前に案内した上で、定期的に行事を開催し、まずは足を運んでいただく機会を設け、継続していきます。 玄関ホールの灯りの点灯、日中の自動ドアの作動を心がけ、事業所への入りやすさ、明るく活気のある雰囲気の維持に努めていきます。やむを得ず玄関の自動ドアの作動を止める場合は張り紙などでお知らせをします。 また、月に一度の利用者会議の際にご利用者様に施設の環境面についても意見をお聞きしていきます。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>運営推進会議においても平成27年12月より、毎回異なる職員が参加させていただくことで皆様に覚えて頂くようにします。 同時に地域の行事にも参加させて頂き、職員から挨拶をさせて頂くように心掛けます。</p>	<p>運営推進会議の開催場所を事業所にしたことによって、毎回異なる職員が参加できている。 地域の行事にも参加させていただいている。</p>	<p>民生委員との連携も取れているように思う。 地域のお祭りにも参加していて、施設の行事にも呼んでいただいている。北井門の中ではできているがほかの地域ではどうなのか？</p>	<p>平成28年8月の運営推進会議より会場を事業所にさせていただき、引き続き多くの職員が参加させて頂くことで皆様に顔を覚えていただくようにしていきます。 同時に地域の行事やサロンにも積極的に参加させて頂き、事業所を知って頂けるよう、職員から挨拶をさせて頂くように心掛けます。</p>

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	平成 28 年 1 月より、ご利用者様のサービス担当者会議に当該地区の民生委員の方に参加して頂くようお願いするようにします。	サービス担当者会議での当該地区の民生委員の方の参加のお願いができていない。	北井門地区以外の登録者の方に対する地域の方を交えての会議をどのように開催していくのが課題である。	ご利用者様の当該地区の行事等を民生委員の方等に聞くなどして調べ、一緒に参加や近辺を散歩するなどし、地域とのかかわりを増やしていきけるようにします。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>基本的には、相談があった時には統括施設長、管理者またはケアマネージャーが相談受付を担当します。不在の場合には他の職員が当該担当職員に連絡を取るようになります。</p> <p>まず、小規模多機能型居宅介護事業所がどのようなサービスを提供でき、どのような理念で、どのような取り組みを行っているのかをご説明していくようにいたします。</p>	小規模多機能居宅介護事業所がどのようなサービスを提供しているのか説明不足なところもありわかり辛いところがある。	小規模多機能居宅介護事業所がどのようなサービスを提供しているのかわかり辛い。	小規模多機能型居宅介護事業所がどのようなサービスを提供でき、どのような理念で、どのような取り組みを行っているのかを 8 月・12 月の運営推進会議の際にご説明していくようにいたします。
F. 事業所の 防災・災害対策	<p>平成 28 年 3 月の防災訓練の実施より、事前に案内をすると同時に防災計画についてもお配りし、どのような計画を立てて実施しているかをご理解頂けるようにします。</p> <p>町内会での自主防災訓練の案内があった際には、日程を調整した上で出来る限り参加出来るように努めます。</p>	事前に防災訓練の案内はできていた。	地域での自主防災訓練については行われていない。	<p>年度当初に防災計画の説明、振り返りをして、防災訓練に活かしていきます。</p> <p>また、一度運営推進会議でもご案内をし、具体的な内容を説明したのち参加していただく。参加後は振り返りの場を地域の方と持てるようにし、自地域の防災について相談をしていきます。</p>